|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校家庭科用 |

|  |
| --- |
| 「新編　新しい家庭５・６」  臨時休業明けの  **年間指導計画参考資料**  **【６年生用】** |

※□で囲まれた内容は，学習指導要領（平成29年告示）で新しく示された内容です。ご注意ください。

※「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」の活動内容や時数は考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。

※以下の案では，第6学年の総時数55時間のうち，13時間を「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」として提示しています。

東京書籍

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大題材名 | 8．私の仕事と生活時間 | | | 教科書の  ページ | p.62～63 |
| 配当時数 | 2時間 | 活動時期 | 4月 | 学習指導要領の内容 | A(2)アイ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 生活時間について，家族との「協力」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識を身につけ，家族の一員として，生活時間の使い方を考え，工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 生活時間の有効な使い方について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，家庭生活と仕事について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 |
| (1)家庭の仕事をしていますか ★他教科との関連：体育，道徳 | | | |
| ・できるようになったことをふり返り，自分が関わってする仕事を考えよう  p.62 | 0.5 | ①1年間でできるようになったことをふり返り，これからどのような仕事ができるか考える。 |  |
| (2)時間の使い方を工夫しよう | | | |
| ・生活時間の使い方を工夫し，生活リズムを整えよう。  p.62～63 | 1 | ①時間軸で自分の生活を書き出して，協力の視点で見直し，工夫できることを見つける。 | p.63活動２の表に学校に行く日と休日の生活時間を記入し，自分の生活時間で直したいことや，工夫できることをまとめる。【１時間】 |
| (3)工夫して家庭の仕事を続けよう | | | |
| ・工夫して生活を続けよう  p.63 | 0.5 | ①「わが家のすてき時間作戦」を考え，生活時間の有効な使い方を工夫する。  ②発表交流会をして，実践について評価・改善をする  ③友達の工夫やアドバイスを参考にさらに豊かな家庭生活を作るため，生活時間の有効な使い方を工夫する。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大題材名 | 9．朝食から健康な1日の生活を | | | 教科書の  ページ | p.64～71 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 4～5月 | 学習指導要領の内容 | B(1)アイ，  (2)ア(ｱ)(ｲ)(ｳ)  (ｴ)イ，(3)ア(ｱ)(ｲ) |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 朝食の役割と栄養，いためる調理について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，調理計画を考え，いためる調理の仕方を工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに，いためる調理について理解し，適切にできる。 |
| 思考・判断・表現 | 食事の役割と栄養を考えた食事，いためる調理について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，食事の役割と栄養を考えた食事，調理の基礎について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 |
| (1)毎日の朝食をふり返ろう | | | |
| ・自分の毎日の朝食のとり方をふり返り，課題を考えよう。  p.64～65 | 1 | ①教p.64～65の写真の朝食から，よい点や課題点を話し合い，朝食の役割について考える。  ②自分の朝食のとり方をふり返り，課題を見つけ，これからめざす朝食のとり方を考える。 | p.64～65活動１の写真を見て自分の朝食をふり返り，どのような課題があるかまとめる。【1時間】 |
| (2)いためて朝食のおかずを作ろう | | | |
| ・栄養のバランスを考えて，いろいろな食品をいため，朝食のおかずを作ろう。  p.66～70 | 7 | ①教p.64～65朝食を比べて，どちらの食事がよいか話し合い，主にどのような働きをする食品がふくまれているか調べる。  ②栄養のバランスがよい食事について考える。  ③材料に応じた切り方，いためる順序，火加減を調べ，調理計画カードに記入し，いためる調理の計画を立てる。  ④切り方，いためる順序，火加減に注目していためる調理をする。 | 〔感染症対策のために実習が困難な場合〕立てた計画に沿って家庭で実践し，材料の準備の仕方や切り方，火加減，味付け，盛り付け，手順についてふり返り，よかったことや課題をまとめる。（切った野菜やできあがりを写真等で記録する。）【2時間】 |
| (3)朝食から健康な生活を始めよう ★他教科との関連：体育 | | | |
| ・朝食作りの学習を生かし，工夫して健康な生活をしよう。  p.71 | 2 | ①調理実習をふり返り，計画通りに進められたか，切り方やいためる順序，火加減や味など，うまくいった点や課題点について話し合う。  ②学習したことを生かして，ご飯とみそ汁に付けた足す朝食のおかずの計画を考える。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大題材名 | 10．夏をすずしくさわやかに | | | 教科書の  ページ | p.72～80 |
| 配当時数 | 8時間 | 活動時期 | 6～7月 | 学習指導要領の内容 | B(4)ア(ｱ)(ｲ)イ，  （6）ア(ｱ)イ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え，工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに，日常着の手入れの仕方を理解し，適切にできる。 |
| 思考・判断・表現 | 季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標 | | | 時数 | 学習活動 | | | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 | |
| (1)夏の生活を見つめよう ★他教科との関連：社会 | | | | | | | | |
| ・夏の暮らしの特徴と課題を考えよう。  p.72～73 | | | 1 | ①イラストや生活経験をもとに，夏の生活の特徴や工夫点を出し合い，自分の生活の問題点に気づく。  ②問題点をもとに，解決すべき課題を設定し，学習の見通しをもつ。  ③夏を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。 | | | p.72～73のイラストを参考にしたり家族の話を聞いたりして，夏を快適に過ごす工夫を調べまとめる。【1時間】 | |
| (2)快適な住まい方や着方をしよう ★他教科との関連：理科，体育 | | | | | | | | |
| ・夏を快適に過ごす住まい方を考えよう。また，衣服の着方も考え，手入れや洗濯をしよう。  p.74～79 | | | 6 | ①調べた夏の生活の工夫を発表する。  ②気温，湿度，風通し，騒音について調べ，健康・快適の視点で，生活の問題を解決するための最適な方法を考える。  ③快適で安全な着方を考える。  ④家庭で調べた衣服の手入れの工夫を発表する。  ⑤衣服を気持ちよく，長く利用するための方法を考える。  ⑥洗濯の仕方を調べ，手順に従って手洗いをする。 | | | p.78～79を参考に洗濯の計画を立て，ワークシート等に記入する。【1時間】 | |
| (3)夏の生活を工夫しよう ★他教科との関連：理科 | | | | | | | | |
| ・快適に過ごす夏の住まい方と着方を工夫しよう。  p.80 | | | 1 | ①夏休みの暑い1日を自宅で快適に過ごすための工夫について話し合う。  ②工夫点をふまえ，相手や場所を設定し，夏を快適に過ごしてもらうための「夏のおもてなし計画」を考える。 | | |  | |
| 大題材名 | 11．思いを形に　生活に役立つ布製品 | | | | | 教科書の  ページ | | p.82～91 |
| 配当時数 | 14時間 | 活動時期 | | | 9～11月 | 学習指導要領の内容 | | B(5)ア(ｱ)(ｲ)イ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，目的に合った製作計画を考え，製作を工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに，適切にできる。 |
| 思考・判断・表現 | 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 |
| (1)目的に合った形や大きさとぬい方を考えよう | | | |
| ・生活に役立つ物を製作するために必要な条件を考えよう。  p.82～83 | 1 | ①身の回りにある布製品を観察し，便利で長く使うための工夫について考える。  ②作りたいふくろやカバーをイメージして図に表す。 | p.83活動１で家庭にある布製品を観察して，製作に必要な条件や目的を表にまとめる。【0.5時間】 |
| (2)工夫して作ろう | | | |
| ・目的に合わせて，布を選び，形や大きさとぬい方を工夫して製作しよう。  p.84～90 | 12 | ①身近にあるふくろなどを観察して，出し入れしやすくするためのゆとりについて話し合い，目的に合った形や大きさを考える。布を選ぶ。  ②製作計画を立てる。  ③製作の途中で，製作計画や作品を友達と見せ合い，工夫できることについて話し合う。  ④製作計画に沿って，安全に注意し，工夫しながら布作品を製作する。 | p.84～85を参考に，作りたいふくろやカバーについて，完成予想図や材料，製作の手順などの製作計画を立てる。【0.5時間】 |
| (3)衣生活を豊かにしていこう | | | |
| ・作品で生活を豊かにしよう。製作を通して学んだことを，生活に生かそう。  p.91 | 1 | ①使い心地やおくった相手に聞いた感想を報告し合い，工夫することのよさに気づく。  ②生活を豊かにする布作品の提案について意見交換し，製作計画を立てる。 | 実際に使ってみて，よかった点やおくった相手の感想，次の製作への課題をまとめる。【0.5時間】 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大題材名 | 12．まかせてね　今日の食事 | | | 教科書の  ページ | p.92～100 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 11～12月 | 学習指導要領の内容 | B(1)イ，(3)ア(ｱ)(ｲ)(ｳ)イ，C(1)ア(ｱ)(ｲ)イ，(2)アイ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 栄養を考えた食事について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方，環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに，購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 |
| 思考・判断・表現 | 1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方，環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，栄養を考えた食事や買い物，環境に配慮した生活について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標 | | | 時数 | 学習活動 | | | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 | |
| (1)1食分の献立を工夫しよう ★他教科との関連：体育 | | | | | | | | |
| ・1食分の食事に必要なことを考えよう。  p.92～93 | | | 1 | ①献立を立てるときには，栄養のバランスを整えて，主食・主菜・副菜に汁物を加えて食品を組み合わせてつくることを知る。 | | | p.92～93の写真を参考に, 1食分の献立を考え，工夫することをワークシート等に記入する。【0.5時間】 | |
| (2)家族が喜ぶ食事を作ろう ★他教科との関連：社会 | | | | | | | | |
| ・家族のために栄養のバランスがよい献立を考え，環境にも気を配りながら調理しよう。  p.94～99 | | | 8 | ①いろいろな食品を使ってご飯とみそ汁を中心とした1食分の献立を考える。  ②必要な材料・分量，用具，手順を調べて調理計画を立てる。  ③買い物の仕方について考え，材料の準備をする。  ④家族が喜ぶおかず作りの調理実習を行う。 | | | 〔感染症対策のために実習が困難な場合〕立てた計画に沿って家庭で実践し，材料の準備の仕方や切り方，火加減，味付け，盛り付け，手順についてふり返り，よかったことや課題をまとめる。（包丁で切ったりむいたりした野菜・いも，できあがりを写真等で記録する。）【2時間】 | |
| (3)楽しく食事をするために工夫しよう | | | | | | | | |
| ・家族と共に楽しい食事のときをつくるための工夫をしよう。  p.100 | | | 1 | ①みんなで楽しく食事をするために工夫できることについて考える。 | | |  | |
| 大題材名 | 13．冬を明るく暖かく | | | | | 教科書の  ページ | | p.102～107 |
| 配当時数 | 5時間 | 活動時期 | | | 1～2月 | 学習指導要領の内容 | | B(4)ア(ｱ)イ(6)ア(ｱ)イ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 冬の快適な住まい方や衣服の着方について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え，工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，快適な住まい方や衣服の着用について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 目標 | | | 時数 | 学習活動 | | | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 | |
| (1)冬の生活を見つめよう ★他教科との関連：社会 | | | | | | | | |
| ・冬の暮らしの特徴と課題を考えよう。  p.102～103 | | | 1 | ①イラストや生活経験をもとに，冬の生活の特徴や工夫を出し合い，自分の生活の問題点に気づく。  ②問題点をもとに，解決すべき課題を設定し，学習計画を立てる。  ③冬を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。 | | | p.102～103のイラストを参考にしたり家族の話を聞いたりして，冬を快適に過ごす工夫を調べまとめる。【1時間】 | |
| (2)暖かい着方や住まい方をしよう ★他教科との関連：体育，理科 | | | | | | | | |
| ・自然を生かし，エネルギーを節約して快適に過ごす住まい方と着方を考えよう。  p.104～106 | | | 3 | ①衣服の着方を考える。  ②暖かさの実験を行い，衣服の暖かい着方の仕組みを理解する。  ③暖房器具の特徴や安全に使うための注意点を調べる。  ④暖房器具の効果的な利用の仕方について話し合う。  ⑤教室やろうかの暖かさと明るさを調べる。  ⑥測定結果をもとに，日光の利用の仕方を考える。 | | |  | |
| (3)冬の生活を工夫しよう | | | | | | | | |
| ・冬の住まい方や着方を工夫しよう。  p.107 | | | 1 | ①学習したことを生かして学校でどのようなことができるのか話し合う。  ②イラストの男の子の課題を見つけ，どんなアドバイスをするのかを考える。  ③1年生へ提案する冬の健康で快適な生活の計画を立てる。 | | | p.107活動５の男の子へのアドバイスをまとめる。【0.5時間】 | |
| 大題材名 | 14．あなたは家庭や地域の宝物 | | | | | 教科書の  ページ | | p.108～113 |
| 配当時数 | 2時間 | 活動時期 | | | 2～3月 | 学習指導要領の内容 | | A(3)ア(ｲ)イ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 家族や地域の人々との関わりについて，家族や地域の人々との「協力」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識を身につけ，よりよい関わりについて考え，工夫することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり，地域の人々との協力が大切であることを理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，家族や地域の人々との関わりについて，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。また，これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し，家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し，家庭や地域で実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 |
| (1)家族や地域の一員として　家庭や地域でできること ★他教科との関連：道徳 | | | |
| ・家族の一員として家庭や地域でできることを考えよう。  p.108～109 | 0.5 | ①イラストを見て，自分の生活と地域の人々との関わりについて考える。  ②チェックポイントを参考に，協力の視点から，家族や地域の一員としての自分の生活を見直し，地域の人々とどのように関わっているかを考える。 | p.108のイラストを参考に，自分と地域の人々との関わりについてふり返り，気づいたことをまとめる。【0.5時間】 |
| (2)心のつながりを深めよう | | | |
| ・2年間の学習を生かして，お世話になった人に気持ちを伝えよう。  p.110～111 | 1 | ①地域や家庭をよりよくする工夫を考え，2年間の学習を生かして，実践計画を立てる。 | p.111を参考に，自分の気持ちを伝える計画を立て，ワークシート等に記入する。【1時間】 |
| (3)もっとかがやくこれからの私たち ★他教科との関連：社会 | | | |
| ・2年間の学習を通してできるようになったことをふり返ろう。中学校の学習につなげていこう。  p.112～113 | 0.5 | ①友達の工夫やアドバイスを参考に家庭や地域をよりよくしていくために，地域の一員としてできることを考える。  ②2年間の学習の中で自分なりに工夫できたことやがんばったことを発表する。また，これからやってみたいことや工夫したいことなどを発表し合う。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大題材名 | 自由研究（家族・家庭生活についての課題と実践） | | | 教科書の  ページ | p.25,51,81,101 |
| 配当時数 | 3時間  （実践は家庭で行うことを前提とする。） | 活動時期 | **長期休業前後** | 学習指導要領の内容 | A(4)ア |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大題材の目標 | | 学習したことを生かして，日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し，生活の営みに係る見方・考え方を働かせて，よりよい生活を考えて，計画を立てて実践することができる。 |
| 大題材の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | ‐ |
| 思考・判断・表現 | 家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家族の一員として，生活をよりよくしようと，家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 目標 | 時数 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる  教材・学習活動 |
| (1)課題を設定しよう | | | |
| ・学習のふり返りから自分ができるようになったことを話し合おう。  ・課題を設定しよう。 | 1 | ①学習の足あとやふり返りカードを見て話し合う。  ②学習したことをもとに，自分の家庭でどのようなことが問題か，実践でできそうかを話し合う。 |  |
| (2)課題を解決するための計画を立て，実践しよう | | | |
| ・自分の家庭での実践の計画を立てよう。  ・計画を家庭で実践しよう。 | 1 | ①課題を設定し，課題解決のために実践する具体的な計画を立てる。  ②自分が見つけた課題と実践の計画について発表する。 |  |
| 長期休業中に家庭で実践する。 | | |
| (3)生活に生かそう・新しい課題を見つけよう | | | |
| ・家庭実践についてまとめ，発表し，友達と交流しよう。  ・実践について評価・改善しよう。 | 1 | ①長期休業前の計画と実践したことをふり返る。  ②自分の課題と家庭で実践について発表する。友達の課題と家庭での実践について聞き，交流する。  ③友達の発表も参考にして，自分の実践について評価・改善をする |  |